

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2023年4月14日

株式会社セイトロウデザイン

セイトロウデザイン山崎晴太郎が三菱地所レジデンスの
高品質賃貸マンション「ザ・パークハビオ 渋谷クロス」に
幻想的なインスタレーション作品を体験できるコンセプトルームを設計。
-アートやクリエイティブへの感度の高い居住検討者に提案する“都市の喧騒と静寂の対比”-



デザイン・ブランディング事業を手がける株式会社セイトロウデザイン（代表取締役：山崎晴太郎、本社：東京都目黒区）の代表・アートディレクターであり、アーティストとしても活動を広げる山崎晴太郎は、三菱地所レジデンス株式会社の高品質賃貸マンション「ザ・パークハビオ 渋谷クロス」のコンセプトルームとしてインスタレーション空間を制作しました。

【ザ・パークハビオ 渋谷クロス】

物件 HP : <https://www.mecsumai.com/tphb-shibuya-cross/>

■ 「The Parkhabio」シリーズについて

「The Parkhabio」シリーズは、三菱地所レジデンスの高品質賃貸マンションシリーズで、良質なマンションづくりを目指し、用地取得から企画・品質管理、マーケット調査・リーシング、管理など、多

岐にわたる事業工程すべてを三菱地所グループにて行う一貫体制システムを採用しています。都内を中心にエリアの拡大を図っています。

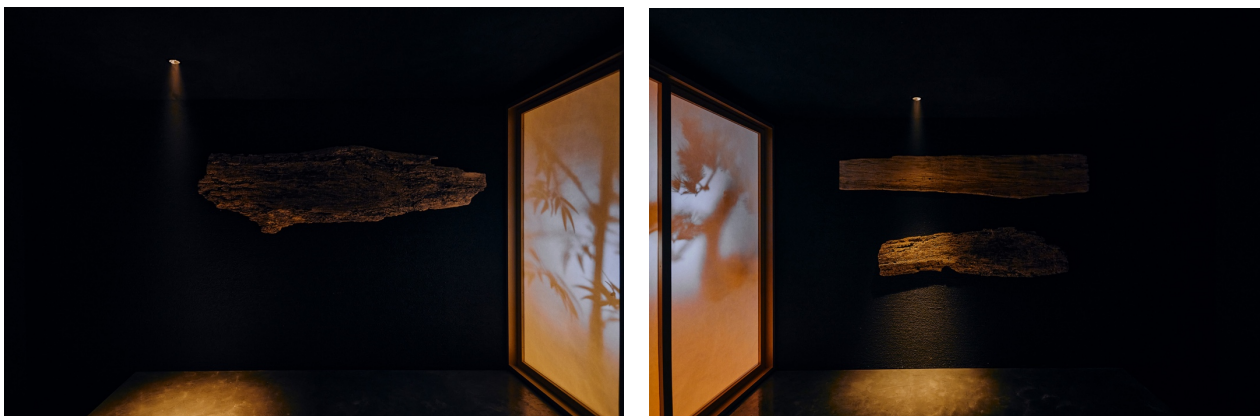
ブランドコンセプト <https://www.mecsumai.com/tphb/brand/>

コンセプトムービー <https://www.mecsumai.com/tphb/>

【コンセプトルーム「The Womb of the City / 都市の胎内」 | 作品概要】

■タイトル

The Womb of the City / 都市の胎内



■インスタレーション作品について

「ザ・パークハビオ 渋谷クロス」の一室（27 平米）の中に、そこに有機的な植物の影を落とした障子と床から少し浮き上がった金属風の天板。微量な光で天板を照らす二つのダウンライト。そして、天板の上には座布団が一つ置かれています。来場者は天板の上に入り、実際に座ることができます。空間全体はスモークで靄がかかった空間で、正面の障子の色や輝度は日付や時間によって移り変わっていきます。壁面には長い時を感じさせる古木。薄く流れるアンビエント音楽も相まって、都会の喧騒を忘れる空間作品となっています。

【動画はこちら】 <https://youtu.be/xM933-3ppAc>

■作品コンセプト

都市は常に変化し、全てを受け入れ、全てを取り込んでいく。
その都市の中で、個人はどのように存在しうるのだろうか。

都市は、動的な存在である。国際都市「東京」の都市空間は、
絶えず変化を繰り返しながら、増殖と拡張を続けている。

そこで暮らす都市住民の日常は、断片化された非連続的な経験の連続である。

本作品は、現代都市における人間の経験の蓄積と、精神的な避難所の探求である。

都市の喧騒の中心に位置する非連続な静寂の空間を通じて、都市環境の矛盾や多面性を探求すると同時に、都市環境の再構築や調和の可能性を示唆するものである。

正面に位置する障子は、身体を通過したかのような強い暖色を放っている。そして、都市環境の変化に応じて、その明るさと色を変化させていく。

浮かぶ金属板は、不安定で無機質な都市のあり方を象徴し、そこに座る観客の意識を対話と内省へと導き、都市生活の連続性と矛盾、そして調和を体験させる。

インスタレーションの根底には、都市の喧騒と静寂の対比が存在する。この対比は、都市生活者が日常生活の中で経験する緊張感や矛盾を示すものである。

本インスタレーションは、約1,400万人が暮らす「東京」という国際都市の、静寂の断片である。



【コンセプトルーム「The Womb of the City / 都市の胎内」 | 見学方法】

期間 : 2023年4月18日～2023年6月末日（予定）

※終了日については事前予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

予約方法 : ザ・パークハビオ 渋谷クロスの内見予約の際にコンセプトルームの見学予約をして下さい。通常のお部屋とコンセプトルームをご案内します。

物件 HP : <https://www.mecsumai.com/tphb-shibuya-cross/>

作品詳細 : <https://seitara-design.com/project/5049/>

【アートディレクター・アーティスト：山崎晴太郎のコメント】



この度、三菱地所レジデンスさんと一緒に都市における住空間のあり方を再考するためのコンセプトルームをザ・パークハビオの一室に作らせていただきました。東京の中心にある、非常に都会的なマンションの一室です。

渋谷は神泉町の交差点、レクサスのショールームの真上という都市の喧騒の中にある、荘厳で静謐な空間です。空間の肌触りと時間の流れを意識しながらつくった作品ですので、できれば「一人で」ご来場いただき、実際に座って空間を体感していただけたらと思います。都市とは何か、自分たちは都市とどう向き合っているのか。そんなことに思いを馳せていただければ幸いです。

【山崎晴太郎プロフィール】

立教大学卒。京都芸術大学大学院芸術修士。2008年にセイタロウデザインを設立。企業のデザインブランディングを中心に、グラフィック・WEB・空間・プロダクトと多様なチャネルのアートディレクション・デザインを手がける。各種団体主催のデザイン賞審査委員や省庁の有識者会議検討委員を歴任。デザイン・水墨画・いけばななどの経験を生かし、2018年よりコンセプチュアルアーティストとしての活動を開始。中近世の日本で発達した極度に抑制的で簡略化された具象表現を追求し、現代の産業文明が切り刻んだ世界と世界の境界にある儚い美を掬い上げている。国外を中心に作品を発表、2023年5月27日よりBlue Line Arts (California)にて個展「Time spilled over」を開催。

【会社概要】

●株式会社セイタロウデザイン

社名：株式会社セイタロウデザイン（英語名称：Seitaro design, inc.）

設立：2008年10月1日

代表取締役：山崎 晴太郎

本社：東京都目黒区青葉台2-3-1 小杉ビル青葉台2F

URL：<https://seitaro-design.com>

TEL：03-6417-4874